

教科(科目)	家庭(家庭総合)	実施学年 (履修規定)	第1学年 必修
単位数	福祉科 2単位	教科書	家庭総合 生活の創造をめざして (大修館)
		副教材	家庭科トータルデータ (教育図書)
科目の目標	人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させる。 ・生活に必要な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度の育成を図る。 ・家事支援に必要な基礎的知識と技術を習得し、適切かつ安全に支援ができる能力と態度の育成を図る。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	「家庭総合」 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭総合」の学習内容や学習方法について理解する。 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の趣旨を理解している。 ・積極的に活動に関わろうとしている。
5	人生をみつめる	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの課題について考える。 ・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて考える。 ・家庭の中で営まれる生活の構成要素を確認する。 ・現代の家族の特徴、家族の機能と家族関係、家庭を支える労働、福祉などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの特徴を理解している。 ・多様化する家族と社会との関わりに関心をもつことができる。
中間考査(内容把握、人の一生と発達課題、家庭生活と職業生活等)				
6 7	生活を営む ・食生活を設計し実践しよう	<p>1 食生活をみつめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わが国の伝統的な食生活や、食文化について関心を持たせる。 ・現代の食生活の実態を把握させ、各自の食生活の問題点を考える。 <p>2 健康な食生活のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と機能について理解する。 ・日常用いられる主な食品の栄養的特質について理解する。 ・栄養的にバランスのとれた食事をとることの重要性に気づく。 <ul style="list-style-type: none"> ・食物調理検定 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・ノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義について理解している。 ・自分の食生活の課題がまとめられる。 ・意欲的に調理実習に取り組んでいる。
期末考査(内容把握、伝統的な食生活、栄養素の種類とそのはたらき等)				
8	夏季休暇	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活を見直し、課題を見つけホームプロジェクトとしてまとめる。 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト発表 ・栄養と食事 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践内容について発表する。 ・栄養価計算ができるようになる。 ・献立作成ができる。 ・楽しい食事の工夫について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な活動ができています。
			<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ノート ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養価計算しながら日常食の課題について考えようとしている。 ・バランスのとれた食事計画を立てることができる。 ・配膳やマナーを踏まえた楽しい食事の工夫ができる。

10		・調理実習	・授業観察 ・ワークシート	・調理の基本知識と技術が身についている。
中間考査（内容把握、栄養素、調理の基礎等）				
11 12	・食生活の管理	・食品の腐敗や変敗，食中毒，食品添加物や輸入食品などの問題点を理解し，健康や安全に配慮した食生活の管理ができる。	・授業観察 ・ワークシート ・ノート	・健康で安全に配慮した食生活の在り方について理解できている。
期末考査（内容把握、食生活の管理など）				
1	資源をいかに 消費行動と意志決定 家庭の経済	1 家庭の経済生活をみつめよう ・家庭を取り巻く経済を理解する。 2 消費生活と意志決定について考えよう ・消費者が意志決定を行う過程について金銭・時間エネルギーなど適切な活用について考える。 ・家庭経済と国民経済のかかわりについて理解する ・家族の目標実現のために短期・長期の経済計画が必要であることに気づく。	・授業観察 ・ワークシート ・ノート	・自分や家族の身近な問題として捉えようとしている。 ・生活設計と関連させて，短期・長期の家計管理を考えることができる。
2	・消費者の権利と責任	3 消費者の権利と責任について調べよう ・契約のしくみと問題点を理解し，多重債務や自己産の危険性について事例を用いて理解する。 ・ロールプレイングを行い消費者の責任や役割を知り，行動の重要性を理解する。	・授業観察 ・ノート	・さまざまな消費者問題について理解している。 ・消費者保護の施策に関心を持つ。
3	・消費行動と資源・環境	4 環境に調和した生活をしよう ・身近な物資・サービスの選択・活用にかかわる意志決定の過程を考え，消費者として適切な態度がとるよう自覚する。	・授業観察 ・レポート	・環境負荷を考えたライフスタイルを実践しようとする意欲がみられる。
学年末考査（内容把握、経済、消費者の責任等等）				

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

人の一生と家族，子どもの発達と保育，高齢者の生活と福祉，衣食住，消費生活などについて関心を持ち，その充実向上を目指し意欲的に取り組むとともに，実践的な態度を身に付けている。

② 思考・判断

人の一生と家族，子どもの発達と保育，高齢者の生活と福祉，衣食住，消費生活などについて見直し，生活課題を主体的に解決するために思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身に付けている。

③ 技能・表現

人の一生と家族，子どもの発達と保育，高齢者の生活と福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。

④ 知識・理解

人の一生と家族，子どもの発達と保育，高齢者の生活と福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を総合的に身に付けている。

「家庭総合」の総合評価における各観点の割合

- | | | | |
|------------|-------|---------|-------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25%程度 | ② 思考・判断 | 20%程度 |
| ③ 技能・表現 | 30%程度 | ④ 知識・理解 | 25%程度 |